

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 21 日 (18:00 ~20:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	9 人	人	人	10 人

前回の改善計画
勤務時間や経験、役割によって情報収集に差が生じていることから、一日の中でのミーティングの工夫を検討し、共有を深めることが必要と考え、その日の役割分担した内容を担当者が記録に残すことを業務で明確に意識して行う。

前回の改善計画に対する取組み結果
ミーティングの充実を図って共有することに意識をもって努力した。また、記録のあり方・重要性を認識した結果、私語が減り、プライバシーを配慮することにつながった。
ただし、記録することが不十分であったことをどのスタッフからもあった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	4	1		10
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	7			10
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	6	1		10
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
情報を紙面または 15 分ミーティングで伝達し共有している。
意識して声掛けをする。笑顔で接することに努めた。
忙しい家族にはメールなどで対応の工夫をした。
心掛けて安全に受け入れの準備をする等の意見があった。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
伝達の記録が後回しになる。うっかりとして忘れる。記録の確認を忘れる。話が長くまとめて話すこと。
内容の思い違いによってピントがずれてしまっていたことなどが上げられていた。
非常勤者は週 2~3 日ほどの勤務なので変化のスピードに戸惑った。メモ帳の活用をしていない。スタッフの意識の差、組織の一員であることの浅さや責任感が弱く専門知識や対応力の足りなさなど個人の姿勢による内容であった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
各自メモ帳に記入する
箇条書きで記録するよう意識する
用語の共有を図ることを考えた

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 7 月 21 日 (18 : 00 ~ 20 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画

日々の支援はできているが、長期的な目標を考えた具体化のプロセスが具体的になっていないことが実現困難にしているととらえ、ゴールに向けたスモールステップの達成評価を明確化する。

前回の改善計画に対する取組み結果

スタッフによって目標の理解度がまちまちで、不十分であった。しかし自己実現の達成に向かう過程をともに歩むことはできている。残念なことに長期目標が突然断ち切られる現実もある。

28

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	1		10
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	3	7			10
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	2		10
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	5	1		10

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

短期目標の共有はケース会議等で理解ができている。また、何気ない会話から本心をつかむ努力をしていることが積み重なっている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

長期目標の解釈や共有と記載が明確にできていなかったことにより、不備となった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

期間を 12 か月と区切って達成評価を数値化し、個々がスモールステップをする状況をわかりやすく表にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

3. 日常生活の支援

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	
「以前の暮らし方」を把握するには、ご本人や家族の話から情報収集しますが、ご本人らしさは生活する自宅にもあることを意識して訪問時にも情報を集め、ミーティングやスタッフ会議で共有する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ミーティングを密にして、観察力のレベルに向上がみられた。それによって心身の不調の対応を先手で行うことができ重症化を防ぐことができている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?	3	7			10
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	3			10
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	9			10
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4	6			10
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	6			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
「ケアの基礎的な介護が向上したことにより、臨機応変な対応・個別対応を意識して行えた」という意見が多かった。また毎回、前日の状況を自分の目で確認することを意識的に行った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
状況の変化が早く「的確な判断ができていない」や「柔軟に対応することができていない」との意見が非常勤者に多くあった。スタッフの総合的な力量が必要となる「声にならない声の言語化」ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
PDCA サイクルを理解して、情報収集したものを個人のものにせず、チームワークによる多角的な視点で変化を早くキャッチ、スタッフ間で共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	6 人	4 人	人	10 人

前回の改善計画	事業所全体が、ご本人の生活スタイルや地域とのかかわりが把握不足であることが解ったことから、地域資源の知識不足を補うためにも、 <u>個別の暮らしマップ</u> を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	以前の暮らしを知るには、普段の会話が大切と試みた。年齢とともに生活の範囲が狭まり、地域との関わりも希薄になっている。「おーばる・ほーむ」としては、少しずつでも関係を深めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	9			10
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7	1		10
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	6	2		10
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		7	3		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
個別の連絡帳の充実を図っている。ホームのある地域との関係は、年間行事の中にも計画をしている。徐々にではあるが生活スタイルを把握することもできている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 民生委員さんとの接点がなく、話し合う機会もない 地域資源を把握していない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 初回アセスメントを基本に追加内容を丁寧に拾って記入する。 民生委員さんとの交流会をホームで 1 回/年計画してみる。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3 人	7 人	人	人	10 人

前回の改善計画	柔軟な対応には日々のかかわりの記録を全員がかかわり共有することが必要と考える。その際身体的・感情的な共通した観察項目を作成し変化が見える記録にする。
前回の改善計画に対する取組み結果	観察のスキルはアップしているが、記録に落とす際、書き方の不足・文章の長短などに課題は残っている。また、共通した観察項目の作成が未だできていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	7	1		10
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5			10
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	5	5			10
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	5			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 観察・記録の共有、記録することや対処策の提案をしている。 ニーズに柔軟に対応することを心掛けている。 また、ボランティアの会や近隣の保育園との交流をして理解を深めている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 記入忘れによる伝達不足。分かりやすい記録の書き方。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 事務所独自の観察項目をわかりやすい工夫をして作成し、変化に気付ける記録にすること。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

6. 連携・協働

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	1 人	人	10 人

前回の改善計画	これまでの各種参加は一部の者に片寄っているので地域の各種機関との集まりには、地域とのつながりを理解し深めるためにも複数か常勤者が順番で参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	各機関との集まり等、順番に参加を試みたが、内容によっては一部の者に偏ってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	5	1		10
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	5	3	1	1	10
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	6	2	1	1	10
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 保育園との交流を 1 回から 2 回ほど行った。 地域のイベントには随時参加している。 ボランティアさんや地域のついでついでチーム、地域のおいでサロンの方との交流を図る機会を作った。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 非常勤者は外部の会議に参加する機会がほとんどない。 ホームが、近隣や登録者以外の方が気軽に立ち寄れる場所までになっていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 状況に応じて積極的に参加してもらうように働きかける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

7. 運営

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	8 人	人	人	10 人

前回の改善計画	
地域住民との話し合う機会をつくるなど、 <u>地域を一緒に考えることを積極的に行ってみる</u>	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域の自治会に加入して、福祉部「ついでついでチーム」の一人として参加している。H28 年の活動の協力をしている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	4	6			10
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	6			10
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	6	2		10
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	4	4	2		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・意見を受け入れて改善を図っている。 ・事務所としてイベントの協力等、できる範囲で地域と関わっている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域からの要望を聞く機会としてアンケートを作成したが、未配布となっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域からの意見を聞くことは次の課題解決につながるので話し合う機会を年 1 回は企画する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	ヒヤリハットを個人に止めず共有すること。 <u>有給の一部で外部の研修を受ける。</u>
前回の改善計画に対する取組み結果	常勤者は必要となる研修は、随時参加しスキルアップを図っているが、非常勤者の方は所内研修に留まる。リスクに対しての危機管理は意識されるようになってきているが、人数によって慌てしまっている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	6			10
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	5	2	1	10
③	地域連絡会に参加していますか	3	3	2	2	10
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	2		10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ヒヤリハットを随時話し合っている。 ・日頃からリスクを考え注意したケアをしている。 ・所内研修への参加をしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	積極性がない、時間がない、ゆとりがない等で非常勤者から外部研修へ参加することがないとあった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	月に 1 回の所内研修を外部の講師を入れ充実するとともに、非常勤者も年 1 回は外部研修を受ける機会を作る。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 28 年 月 日 (: ~ :)

9. 人権・プライバシー

メンバー 常勤者 5 名 + 非常勤者 5 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	人	人	10 人

前回の改善計画	尊厳あるケアの理解を深める。成年後見制度の研修をして理解する。
前回の改善計画に対する取組み結果	スタッフ全員が成年後見制度についてのレポートを書くことで理解を深めることを行った。その後にご利用者の一人が制度を利用している。人権・虐待・プライバシーについてはミーティング時に再三注意してきたことで配慮されるようになった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10				10
②	虐待は行われていない	10				10
③	プライバシーが守られている	5	5			10
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	4	1	1	10
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	3			10

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・意識的に学ぶ努力をしている。例えば、解釈の誤りがないように新しく学ぶ等を行っている。 ・尊厳のある対応をしている。プライバシーへの配慮。身体拘束の禁止。 ・個人情報が漏れないように管理している。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・安全のために一時、カギを掛けたことがあった。 ・声・音などのプライバシーの配慮に欠けたことがあった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	全員が「プライバシーを守る」の項目が「よくできている」になるように統一した基準を作る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 オーバル	代表者	室井 啓子	法人・ 事業所 の特徴	設立4年目になり、地域関係や家族関係も広がっている。毎日の外出先での会話に温かみを感じられ、関係機関や自治会とも協力し「認知症の勉強会」を実施することができた。又地域ボランティアさんとのふれ合いは楽しい思い出づくりの一役となっている。職員は専門のスキルを高めるため学んだ事や深めた事を発表し共有している。
事業所名	おーばる・ほーむ	管理者	室井 啓子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	5人	0人	1人	1人	2人	2人	人	13人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	事業所の目標、スタッフ個人の目標を作る。チームで取り組むことを意識し、情報共有のため表現力を高め、読解力をつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフのスキルに合わせた役割分担がされていて責任感も出てきている ・自由に発言できる雰囲気がある ・着実に成果を上げている 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施の頻度を記録できると良い ・理解度がまちまちである事を認識した上で共有している。 ・達能な計画になっている。 ・質的表現を図ると良い 	①レーダーチャート式にして改善計画を各項目別に達成が可視化できるようにしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	・近隣住民にアンケート調査をする。それによって地域との関係性や課題を明確にして改善に向ける	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣住民へのアンケート調査が未定になっているが、近隣との関係ができてきている。 ・掃除が行き届いている 	<ul style="list-style-type: none"> ・看板の設置によって場所がわかりやすくなった。・地域に開かれた事業所になろうと努力している。・利用者が安心してくつろいでいる 	①未決の調査を実施し委員会で報告する。 ②調査結果から事業所の課題を抽出し、目標や工夫改善に反映する。
C. 事業所と地域のかかわり	・近隣住民の意見を聞いて、看板や標識の設置を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示板・看板の設置ができたことで分かりやすく親近感がもてる。 ・相談件数が増えている。PR不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能の事業内容が解り難い。・近隣商店とのバザー参加等、身の丈の企画をしている 	①小規模の実際の内容を説明し理解を深めてもらう。 ②居宅介護事業所へPRをする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・かかわったことを報告する。 ・アセスメントに具体的内容を取り入れて、暮らしマップを作る	<ul style="list-style-type: none"> ・「暮らしマップ作り」が不明。 ・実際にステップアップしている。 ・生き生きとした暮らしを支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係性を深めることを率先しておこなってほしい。・NO4の内容は厳しいのではないか。 	①日々のモニタリングによって、生活の「暮らしのマップ作り」が広がり深めることで在宅生活の充実を図る
E. 運営推進会議を活かした取組み	・改善計画を、「即できる事、時間をかけて改善を図る」に分類し、随時推進委員会で検討を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・即対応する力がある。 ・会議の在り方が明確。 	<ul style="list-style-type: none"> ・NO2に取り組むのは難しい。・現在の達成を精査してみると良い。・改善計画の進行状況を明確にすると課題解決に繋がる 	① 短期目標は6か月間、長期目標は12か月間にして達成評価を図る
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を年2回予定。 ①事業所のみで行う ②地域で行う訓練に参加する ・防護用をすぐ取り出せるようにする 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災用の備蓄にヘルメットとライフジャケットを追加している。 ・地域の訓練に参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会・地域・警察・消防署と連携して取り組む必要がある。 ・マニュアルがあるか解らない。 ・事業所としての対策が不明。 	① マニュアルを見える所に置く。 ② 3/11と9/1を事業所の防災訓練日にして備える